

物は次々変化す。

あじさい 相変す美しい 両手をひろげ

わたしてても ふいつかあり

家来まで一ヶ月近くあり

あじいありしと感心していら

今朝水やりをする味

アッ！と驚かすのた

一本のくいがあり そこのところハリボテ

のよるすうかくまは一本一本 正ちゃんびり

細いくまで あり大なる花をささえていら

いさやふわかつた

すうたったのふと 網得した

あじさいの葉がざかまうするんを 近くには

へんぐーにあじさいのたにふたふたにふたいな

といわれは

このうらうらとこの園芸をたしする人は

あじりすえ あじさいがたすしたうでる

このところ よく雨がふり 湿度が多い

加湿器は除湿器と交替する時

又加湿器の時は 手入れをしてもし

時

のとしてくぬた

この加湿器 牛が不くさつて 水たをの

もろ

不具合^{あり}は干してあとの 加湿器をの

あんた多く^の 器具が入っていいんて

すつかりだすまわに

とへル^{人の}にの言葉

あじさいも加湿器^も だまらうしらいな

自分の思いとちがうてりだん

変化水ほげしいと 思いがけ原はニとに

あろ それが不とりきと若た 原を原の

かまて来て 自らの思いとちがうて

気がつきとまどりがあす

2023
6/7